

(様式1) 実施報告書

1 応募者情報

(1) 応募者団体情報

団体名	石川県
-----	-----

2 事業の概要

(1) 全体概要

①事業の名称	石川県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業
②目的等	
1 目的 県内市町及び関係機関と連携して、日本語教育の人材の育成や日本語教室空白地域解消・日本語教育の支援等に取り組み、地域における日本語教育を強化し、多文化共生の推進を図る。	
2 本事業を通じて構築を目指す体制の全体像	
【現在の状況】 県、市町、日本語教室や日本語教育関係者との協力体制が構築	
【構築を目指す体制】 日本語教室を単に日本語を教える場所だけにとどまらず、地域づくりの場所にするため、多文化共生や教育以外の行政機関や地域住民など、様々な団体と連携することで、日本語教室を通じ、より外国人住民が暮らしやすい社会づくりを目指す。	

(2) 令和5年度事業の概要

①事業の期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(12カ月間)
②前年度までの年次計画における進捗状況(新規応募団体は記載不要)	
・空白地域解消：県内の空白地域は残り3町まで減少した。 ・教師・サポーターの不足：各市町・教室と連携して、目的や内容についてやりとりしながら、各地の実情に合わせた養成講座、研修会を実施できるようになった。 ・市町担当者、各教室との連携協力体制づくり：石川県日本語教室大会やテーマ別研修会の開催など、県内各地の日本語教育関係者が集い、意見交換を行う場を設定したこと、また、各取組の実施にあたり、各市町・教室の状況やニーズを聞き取り、運営・実施にも必ず参加してもらうことを粘り強く働きかけたことで、県・県協会との間で情報や意見を交換できる信頼関係ができあがった。	
③前年度までの成果と課題(新規応募団体は記載不要)	
・空白地域解消 【成果】空白地域が3町まで減った。 【課題】3町のうち、2町に目立った動きが見られなかった。また、教室はあっても遠隔地教育を課題としている地域もあり、オンラインツールの活用や広域での日本語教育機会の提供などの検討が必要。	

① 講師・サポーターの養成：

【成果】各市町・教室のニーズや希望を聞き、養成講座、研修会を実施した。

【課題】日本語講師・サポーターの高齢化や不足を解消するために、養成講座の開催を地域主導で実施しているが、短期の講座が多く、初期日本語教育や子どもなど配慮が必要な学習者に対応しきれない部分がある。

② 一般県民への周知：

【成果】各市町・教室と協力して日本語教師・サポーターの養成や研修の場を提供できるようになった。

【課題】新規のサポーターの獲得に限界が見え、やさしい日本語講座等を通じて、地域日本語教育に関わる人のすそ野を広げる必要がある。

③ 幅広い連携の必要性：

【成果】教室間の情報交換や連携はある程度進み、石川県日本語教室大会等を通じて他地域・教室の取組にも関心を持つ人が増えた。

【課題】様々なレベル・形態での幅広い連携が必要となっている。地域内では学校や教育委員会、企業等との連携が必要であり、空白地域解消のためには、市町や教室を越えて県内の日本語教育体制を作る必要が出てきた。

④令和5年度の目標

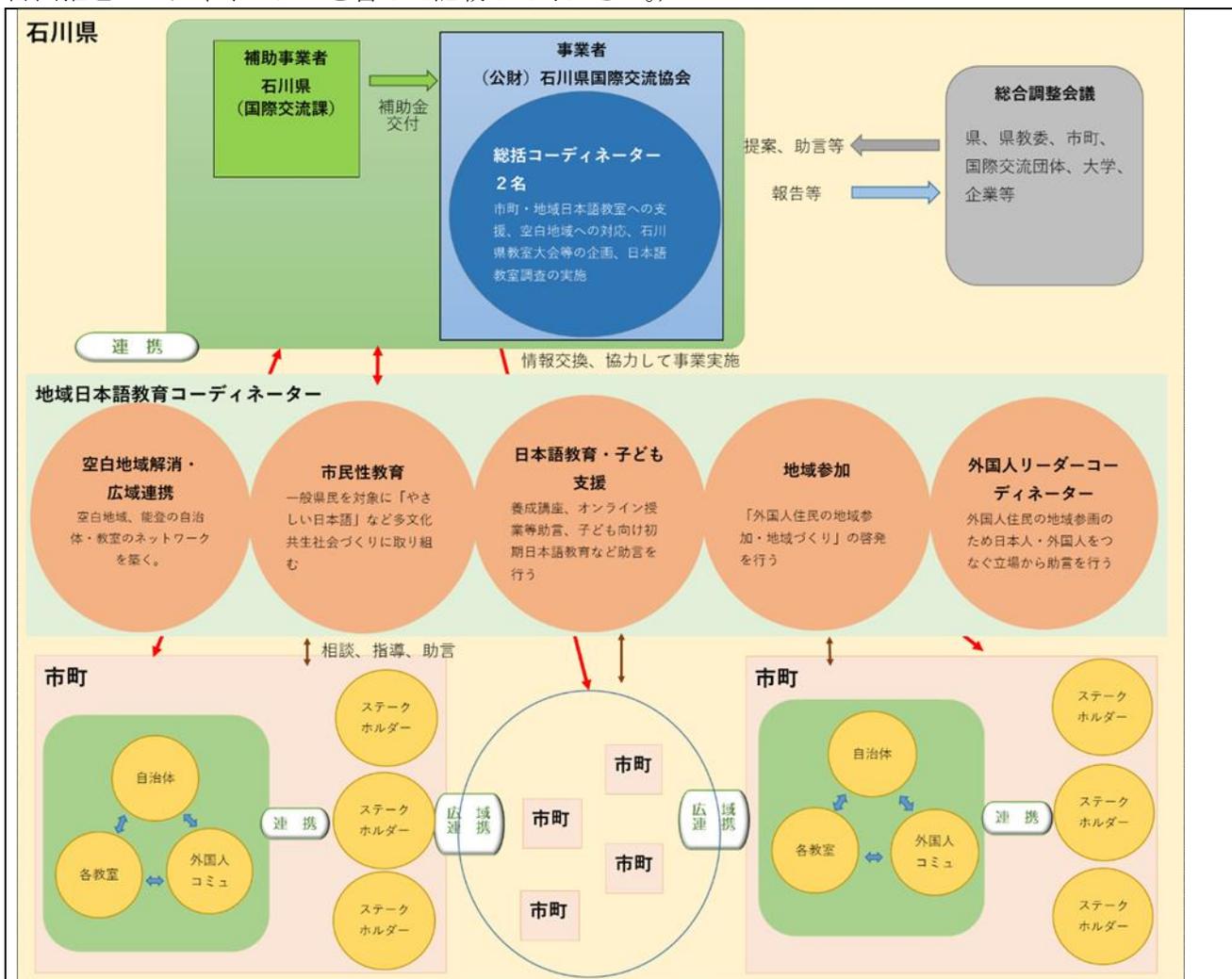
- ・空白地域の解消に向けた働きかけ
- ・地域日本語教育や外国人住民支援に関わる人材のすそ野の拡大（外国人住民も含む）
- ・オンライン日本語教室の実施
- ・年次計画期間である5年間の最終評価と今後の方向性の検討

⑤令和5年度 of 主な取組内容

- ・空白地域をはじめ、地域日本語教室の充実を図った。（取組5-①、取組7-①）。
- ・「やさしい日本語」講座や地域連携事業をとおり、県民に多文化共生事業にかかわる機会を設けた（取組5-②、③）。
- ・地理的・時間的なハードルなどから日本語教育を受ける機会がない外国人住民へ、オンラインによる初期日本語教育受講の機会を提供した（取組7-①、④）。
- ・推進事業の最終評価と内容の共有を行った。（取組4-①、取組15）。

### 3 事業の実施体制

(1) 実施体制 (図表等を活用して、総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーター、調査計画推進コーディネーターを含めて記載してください。)



#### 《事業の中核メンバー》

	氏名	所属	職名	役割
1	今井 武	石川県国際交流協会	専任講師	総括コーディネーター
2	石津 みなと	石川県国際交流協会	地域日本語教育コーディネーター	総括コーディネーター
3	大星 三千代	七尾を世界へひらく市民の会		地域日本語教育コーディネーター (空白地域解消・広域連携担当5年目)
4	長田 明子	石川県日本語講師会		地域日本語教育コーディネーター (日本語教育・こども支援担当1年目)

5	鹿野 みどり	石川県日本語講師会		地域日本語教育コーディネーター (日本語教育・こども支援担当1年目)
6	仲井 直子	能美市国際交流協会		地域日本語教育コーディネーター (地域参画2年目)
7	クイン・フン	能美市国際交流協会		地域日本語教育コーディネーター (外国人リーダー2年目)
8	村上 順花	羽咋市福祉協議会		地域日本語教育コーディネーター (外国人リーダー1年目)

## (2) 域内の市区町村、関連団体等との連携・協力体制

<ul style="list-style-type: none"> <li>石川県（国際交流課）は、石川県国際交流協会と定期的に事業実施に関する打合せ、連携を行った。</li> <li>石川県国際交流協会の総括コーディネーターは、県内の市町担当者、地域日本語教室と連絡を取り、地域日本語教育の実施に必要な状況や課題の把握に努め、また、地域日本語教育コーディネーターと定期的に情報交換し、県地域日本語教室大会、地域別のネットワーク会議、日本語教室を対象とした研修や訪問調査について企画、運営、実施した。</li> <li>県・県国際交流協会は、地域の多文化共生担当者や地域日本語教室と連携しながら、各地の学校、教育委員会、大学、企業、行政書士といった事業遂行のために必要な関連団体と適宜、各地域の実情に合う形で連携・協力を行った。</li> <li>県内で取組を行う際は、市町をまたいだ協力支援体制を作り、リソースや経験のある教室や教師が他地域・教室を支援した。</li> </ul>
--

## 4 令和5年度の実施内容

### (1) 実施内容

1. 広域での総合的な体制づくり				
【必須項目】				
(取組①) 総合調整会議の設置				
①構成員				
	氏名	所属	職名	役割
1	竹内 政則	石川県観光戦略推進部	部長	外国人住民支援に取り組む立場からの助言
2	北島 公之	石川県教育委員会 学校指導課	課長	学校教育との関わりについての助言
3	土岐 祥蔵	石川県商工労働部 労働企画課	課長	企業との関わりについて助言
4	魚 直樹	(公財)石川県国際	専務理事	本事業の中核的实施団体

		交流協会		
5	桜井 正美	石川県日本語講師 会	会長	日本語講師の立場からの助言
6	普赤 清幸	石川県商工会議所 連合会	専務理事	経済団体の立場からの助言
7	眞部 淳	金沢市国際交流課	課長	基礎自治体として外国人住民支援に取り 組む立場からの助言
8	深澤 のぞ み	金沢大学	名誉教授	日本語教育の専門的立場及び子ども支 援の立場からの助言
9	郷原 トモ コ	小松市国際交流協 会	相談員	外国人住民の立場からの助言

## ②実施結果

実施回数 令和6年能登半島地震対応のため実施なし

### (取組②-1) 総括コーディネーターの配置

2名の総括コーディネーターを、石川県国際交流協会に配置し、協力して業務に当たった。

・総括コーディネーター1 (今井 武)

市町・地域日本語教室への支援、課題別会議の企画・実施、日本語教室大会の企画・実施、地域日本語教室調査の作成・実施

・総括コーディネーター2 (石津 みなと)

市町・地域日本語教室への支援、空白地域への対応、テーマ別研修会の企画・実施、地域日本語教育コーディネーターとの連携・連絡

### (取組②-2) 地域日本語教育コーディネーターの配置に向けた取組

地域日本語教育コーディネーターの配置【(○)】

地域日本語教育コーディネーターの候補者育成支援【( )】

地域日本語教育コーディネーターを下記の4つの分野で配置した。

①「日本語教育・こども支援担当」

養成講座、オンライン授業を通し、地域日本語教室サポーター育成、子ども向け初期日本語教育、オンライン教材の普及を担当した。

②「空白地域解消・広域連携担当」

能登地区を中心に「空白地域」への働きかけを行う。能登地区内の自治体・教室のネットワークの構築を担当した。

④「地域参画」

地域日本語教室の役割が「日本語を教えること」から「外国人住民の地域参加・地域づくり」に拡大していることの啓発を行った。

⑤「外国人リーダー」

生活者としての外国人住民が地域参画するための日本人・外国人をつなぐ立場から助言を行った。

また、全ての地域日本語教育コーディネーターが集まる会議を実施しながら課題の共有、多様な意見を取り込みながら体制づくり推進に当たった。

**【重点項目】**

(取組③) 日本語教育に関する基本的な方針に必要な地域の実態調査、基本的な方針の作成

外国人住民の生活実態・ニーズ調査 (※本事業費からは支出しない)

**【目 標】** 県内在住の外国人住民の日本語学習等のニーズを把握し、外国人と日本人がともに生き生きと安心して暮らせる社会づくりに向けた施策の参考とする。

**【実施時期】** 令和5年7月21日～8月4日

**【調査対象】** 県内に居住する満18歳以上の外国人住民 約15,000人(特別永住者を除く)

**【回答率】** 3,071件(回答率21.0%)

**【調査内容】** 属性、日本語学習、地域交流・活動、生活の困りごと、情報入手 等

(取組④) 都道府県等の域内における日本語教育の実施に関する連携のための取組

石川県日本語教室大会

R5年度に実施している体制づくり推進事業の結果報告や課題を県内の自治体関係者、地域日本語教室関係者で共有した。

**【開催時期】** 11月18日(土) 14:00～16:00

**【会 場】** 石川県立図書館

**【参加人数】** 45名(自治体職員、国際交流協会関係者、教室関係者、大学・日本語学校等関係者)

**【内 容】** ・R元年度からR5年度までの推進事業の主な取組と成果

・R5に県内で行われた日本語教育に関する取組の報告(外国につながる子どもへの支援、オンライン日本語教室、やさしい日本語、外国人住民の地域参画、ボランティア養成)

・グループワーク「自分の5年間の活動を振り返る」

(取組⑤) 市区町村への意識啓発のための取組

地域日本語教室等への専門家等の派遣を実施

**【名 称】** 地域日本語教育お助け隊

**【内 容】** 空白地域や地域日本語教育について課題を抱える市町、教室を、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター等が訪問し聞き取り、助言、支援することで、地域の日本語教育や外国人住民支援を円滑に進めた。

**【実施回数】** 3市町3回(訪問した市町:穴水町、志賀町、七尾市)

(取組⑥) 日本語教育人材に対する研修

①「地域日本語教室サポーター研修講座」の実施

**【名 称】** ブラッシュアップ講座

**【開催時期】** 第1回 令和6年1月26日(金) 19:30～21:00

第2回 令和6年2月2日(金) 19:30～21:00

第3回 令和6年2月10日(土) 10:00～12:00

**【会 場】** 第1回、第2回はオンライン、第3回は対面、オンライン

**【対 象】** 県内ですでに活動している地域日本語教室ボランティア

**【参加人数】** 8名

【講師】石川県地域日本語教育コーディネーター 鹿野 みどり 氏、長田 明子 氏

【内容】オンラインテキスト『いろどり』の活用方法や授業体験、模擬授業など

## ②「テーマ別研修会」の実施

【名称】石川県の外国人住民との共生を考える講座

【対象】自治体関係者、日本語教室関係者、大学等教育関係者

【目的】今話題となっているテーマを取り上げ、その分野の専門家による講演・講義をとおり、学びを深めることで、現場での実践へつなげていく契機とする。

### ○第1回

【開催時期】令和5年6月10日（土） 14:00～16:00

【会場】学びの杜のいちカレード（オンライン配信 有）

【参加人数】25名（自治体関係者、国際交流協会関係者、日本語教室関係者等）

【講師】札幌 寛子 氏（国際高等専門学校）

【内容】文化庁「地域における日本語教育の在り方」について知り、参加者自身が地域の日本語教育の進め方について考え、広域、県域での連携協力体制について意見を出し合った。

### ○第2回

【開催時期】令和5年7月1日（土） 13:00～15:00

【会場】花嫁のれん館（オンライン配信 有）

【参加人数】39名（自治体関係者、国際交流協会関係者、日本語教室関係者等）

【講師】山口 泰範 氏（JICA北陸）、前口 憲幸 氏（北陸中日新聞）

【内容】JICAが実施した調査報告を元に、労働人口の動態から、今後の増加する外国人住民との関わりや日本語教室の意義について意見を出し合った。

### ○第3回

【開催時期】令和5年8月6日（日） 13:00～16:00

【会場】松任文化会館ピーノ（オンライン配信 有）

【参加人数】33名（自治体関係者、国際交流協会関係者、日本語教室関係者等）

【講師】金田 智子 氏（学習院大学）

【内容】日本語教室の役割や今後の在り方について、講義・グループワークなどを通じて、参加者自身の地域の日本語教室の今後について、意見を出し合った。

## ③「定期オンライン会議」の実施

【名称】オンライン茶話会

【開催時期】 第1回 令和5年6月15日（木） 19:30～20:30

第2回 令和5年7月6日（木） 19:30～20:30

第3回 令和5年8月10日（木） 19:30～20:30

【参加者】第1回 6名、第2回 9名、第3回 6名

【内 容】テーマ別研修会の内容に沿って、来るべき地域での高齢化、外国人住民の増加、それに伴う地域での日本語教育の重要性の高まりについて意見交換を行い、地域での問題意識を高めた。

④地域日本語教育コーディネーター、石川県日本語講師会講師の外部研修参加  
本事業で指導的立場になる講師に対し、外部研修参加を推奨、支援した。

※令和6年能登半島地震の影響により中止した事業

「広域連携養成講座」の実施

【名 称】奥能登対象人材育成事業

【開催時期】令和6年1月～2月 3回

【対 象】奥能登（珠洲市、輪島市、穴水町、能登町）に在住する外国人住民、県民

【内 容】やさしい日本語の活用、外国人との共生について、日本語教室の体験 など

「外国人コミュニティーリーダー研修」の実施

【名 称】外国人コミュニティーリーダー研修

【会 場】2か所（輪島市内、野々市市内）

【実施回数】各地域で3回～5回程度

【内 容】役所見学、法律、税金、防災、日本語教育（学校・地域日本語教室）、病院、警察、消防、ネットワーク作りなど、地域と外国人住民のつながりを多面的にとらえながら、受講者が日本人サポーターと協働することで、地域のリーダーとして日本語教室等で活躍できるようにする。

（取組⑦）地域日本語教育の実施

実施するものに○ 【○】都道府県・政令指定都市が主催する地域日本語教育  
【 】日本語教育実施機関団体等への地域日本語教育

実施箇所 見込数	25 か所	受講者数 (実人数)	115 人
活動 1	<p>【名 称】いしかわにほんごオンラインクラス【新設】</p> <p>【目 標】在住外国人向けに日本語教育を提供し、地域との交流を促進する。</p> <p>【内 容】地理的・時間的な理由等で地域日本語教室に通えない県内の外国人住民を対象にオンラインで生活に役立つ日本語を学ぶ機会を提供した。能登半島地震後には被災者を対象に追加募集を行った。教材は「いろどり入門」「いろどり初級1」を使用。</p> <p>【実施回数】①入門クラス（プライベート）1.5時間×88回（11クラス） ②初級クラス（グループ）1.5時間×32回（4クラス）</p> <p>【受講者数】①入門クラス（プライベート）19人 ②初級クラス（グループ）23人</p> <p>【実施場所】オンライン</p> <p>【受講者募集方法】外国人住民に直接周知のほか、市町や国際交流協会経由で外国人に周</p>		

	<p>知</p> <p>【開始した月】6月</p> <p>【講師】18人（うち、日本語教師12人）</p> <p>【関係機関との連携】小松市国際交流協会に講師を依頼した。</p> <p>「日本語教育の参照枠」や、標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無</p>
活動2	<p>【名称】石川県で働く外国人と企業のための日本語教育支援事業【新設】</p> <p>【目標】県内企業で働く外国人労働者に日本語教育を提供し、職場での円滑なコミュニケーションを支援する。</p> <p>【内容】社員や実習生への日本語教育の提供に困難を感じている事業者に、社内のコミュニケーションを活発にするための初級日本語教育を目的とする企業対象日本語教室の機会を提供した。</p> <p>【実施回数】1.5時間×21回</p> <p>【受講者数】60人（4カ所）</p> <p>【実施場所】企業内</p> <p>【受講者募集方法】企業に直接周知のほか、市町や国際交流協会経由で企業に周知</p> <p>【開始した月】10月</p> <p>【講師】4人（うち、日本語教師4人）</p> <p>日本語教育の参照枠や、標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無</p>
活動3	<p>【名称】外国につながる子ども初級日本語クラス【既設】</p> <p>【目標】自治体、教育委員会、地域日本語教室と協働することで子どもの初期日本語学習の支援体制を築く。</p> <p>【内容】県内で外国につながる子ども支援の体制が未整備な市町を対象に、方針の立て方、関連する人や機関、求められる準備、使用教材、地域での引継ぎまでを実施。（その後該当市町へ引き継ぐ。）</p> <p>【実施回数】1.5時間×29回</p> <p>【受講者数】8人（5カ所）</p> <p>【実施場所】各市町、学校が指定した場所</p> <p>【受講者募集方法】各市町教育委員会や多文化共生部署と連携し募集</p> <p>【開始した月】5月</p> <p>【講師】4人（うち、日本語教師4人）</p> <p>【関係機関との連携】学校・教育委員会・市町多文化共生部署・地域日本語教室と連携し、初期日本語学習の体制づくりをおこなった。</p> <p>日本語教育の参照枠や、標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無</p>
活動4	<p>【名称】地域づくりを目指した日本語クラス【既設】</p> <p>【目標】県内教室で交流型のクラスを行う際のモデルを作る。</p> <p>【内容】日本語サポーター候補者にも参加をしてもらい、交流型のクラスを実施した。</p> <p>【実施回数】1.5時間×8回</p> <p>【参加者数】9人（1カ所）</p> <p>【実施場所】石川県国際交流センター</p> <p>【開始した月】10月</p>

	<p>【関係機関との連携】なし 日本語教育の参照枠や、標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無</p>
(取組⑧～⑮) その他の取組	
<p>(取組⑧) 地域における日本語教育の在り方についての検討 「IFIE 日本語教室」グループクラス「初級クラス」のカリキュラム見直しの取組 日本語教育の参照枠や「生活 Can do」を取り入れた日本語教育を実施するために、(公財)石川県国際交流協会で行われているグループクラスの現状や課題について調査、検討を行った。 受講者のアンケートや講師へのヒアリング、また、会議・打合せを全8回実施した。</p> <p>(取組⑩) 日本語教育に関する広報活動</p> <p>①「やさしい日本語」出前講座</p> <p>【目的】外国人住民とあまりふれあいのない人や、接し方に困っている方に「やさしい日本語」の講座を通して、同じ地域の住民としてどのように関わっていけばいいかを考えてもらう。</p> <p>【内容】講義と実践を交えた講座を実施した。外国人住民が参加可能な場合は、実践練習に参加してもらい、直接口頭、書き言葉について「やさしい日本語」を用いた交流を行った。幅広い団体からの応募があり、県民の理解を進める一助になった。</p> <p>【回数】9回(8団体)</p> <p>【受講者】172名</p> <p>【講師】5人(うち日本語教師5人)</p> <p>(取組⑭) その他関連する項目</p> <p>①石川県内地域日本語教室調査</p> <p>【目的】コロナ禍があけた地域日本語教室の状況を把握し、今後の事業運営・実施に反映させる。</p> <p>【具体的な実施内容】 県内地域日本語教室および各自治体にオンラインで回答をお願いし、結果を集計のうえ、県内で共有および今年度テーマ別研修会のテーマとして取り上げるなど活用した。</p> <p>②事業アドバイザー</p> <p>(1) 事業アドバイザー(学識関係者) 「事業アドバイザー」として、当事業全般についてのアドバイスや評価をもらい、今後の事業展開に反映させた。</p> <p>【アドバイザー】横田 隆志 氏(北陸大学)</p> <p>【実施内容】推進事業5年間の取組を総括してもらい、評価と課題を提示してもらった。石川県日本語教室大会では、県内地域日本語教室の各課題にも助言をもらった。</p> <p>※令和6年能登半島地震の影響により中止した事業</p> <p>(取組⑨) 地域日本語教育の効果を高めるための取組 日本語スピーチ大会の実施 県内で日本語を学ぶ外国人住民を対象にして、日ごろの日本語学習の成果を試し、また外国人として</p>	

石川県で暮らし思うことを伝えてもらうために実施する。

(取組⑩) 日本語教育に関する広報活動

地域連携外国人住民支援体制構築事業

【目 標】 日本語教室や役所から離れた地域に住む外国人住民の支援のため、地域内の自治体、日本語教室、大学、高校などが協力しモデルとなる日本語教室を作る。

【内 容】 外国人住民の存在を一般市民に知ってもらい、共生の街づくりについて共に考える。

【実施回数】 2回

【実施場所】 野々市市

「日本語教育の参照枠」や、標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

(取組⑭) その他関連する項目

①事業アドバイザー（学生サポーター）

日本語教育専攻の学生などに当事業に関わってもらい、若い学生の立場から事業全体への意見や提言を述べてもらう。

## 2. 市区町村の日本語教育の取組への支援

(取組①) 市区町村を支援して実施する日本語教育

石川県にある7市町（七尾市、小松市、珠洲市、白山市、能美市、野々市市、中能登町）が実施する日本語教室や日本語講師・学習支援者の養成、地域の日本語教育の実施効果を高める取組等に対して補助を行った。

(七尾市)

### 1. 地域日本語教育の実施

【名 称】 日本語教室の定期開催に向けた体制づくり（新設）

【目 標】 サロン型日本語教室を定期開催できる体制をつくる

【実施回数】 2回（1回2時間）

【受講者】 20人（①8人、②4人、③8人 全3回）

【受講者募集方法】 市ホームページ、ラジオ、外国人支援団体のFB

【内 容】 外国人と日本人が気軽に集える場として、各種イベントを開催する。イベントを通じて、楽しみながら日本語を学ぶ環境を作っていく。毎月定期的に開催することで、参加の募集を事前に告知できる。

【開始した月】 令和5年8月

【講師】 3人

### 2. 地域の日本語教育の実施効果を高めるための取組

【名 称】 多文化共生講座の開催

【目 標】 多文化共生を理解し、外国人が地域コミュニティに参加できる環境をつくる

【実施箇所数】 2回（1回2時間程度）

【実施時間数】 計4時間

【具体的な実施内容】日本人市民を対象とした、多文化共生講座を開催

①第1回 ベトナムの人に聞いてみよう 参加者 15人

②第2回 外国の人と一緒に考えてみよう 参加者 17人

【実施スケジュール】①令和5年11月4日(土)、②令和5年11月25日(土)

(小松市)

## 1. 地域日本語教育の実施

【名称】地域日本語教育(既設)

①日曜グループクラス ②日曜栗津グループクラス

③平日グループクラス(ゼロ・初級) ④平日グループクラス(中級)

⑤日本語道場 ⑥オンライン漢字クラス ⑦プライベートクラス(対面・オンライン)

⑧JLPT模擬試験 ⑨出張日本語教室(対面・オンライン(初級・中級))

【目標】外国人住民が地域における普段のコミュニケーションに必要となる日本語を習得する

【実施回数】

①毎週日曜日(1回2時間) ②毎週日曜日(1回2時間)

③毎週月・水・金曜日(1回2時間) ④毎週火・木曜日(1回2時間) ⑤毎週土曜日(1回2時間)

⑥毎週水曜日(1回30分) ⑦随時(学習者によりそれぞれ) ⑧年2回 ⑨対面:毎週水曜日(1回1時間)

オンライン初級:毎週火・木曜日(1回30分)

オンライン中級:毎週月・金曜日(1回30分)

【受講者数】

①37人 ②11人 ③11人 ④4人 ⑤5人 ⑥0人

⑦対面50人、オンライン17人 ⑧20人(前期10人、後期10人)

⑨11人(今年度の出席者数平均)

【実施場所】

①③④⑦⑧小松市国際交流協会(こまつまちづくり交流センター)

②⑤こまつサンアビリティーズ、⑥オンライン、⑨企業

【受講者募集方法】SNS、企業や派遣会社へのPR、市広報紙、既存学習者からの口コミ

【内容】

①②③④⑦レベルに応じた日本語教室

⑤学習者の希望に応じた日本語教室(学習者からの相談も含む)

⑥漢字の習得に特化したクラス

⑧検定試験(JLPT日本語能力試験)の模擬試験

⑨受講者の職種(業務内容)に沿った日本語及び生活のための日本語

【開始した月】令和5年4月

【講師】18人

※⑧については、補助対象外

## 2. 日本語教育人材の養成

【名称】日本語教育人材の養成

①こまつ市民大学 ②日本語講師養成講座 ③実習

【目 標】日本語講師の育成及び在住外国人の実情を知ることによる多文化共生の推進

【実施回数】①10回（1回2時間） ②11回（1回2時間） ③随時

【受講者数】①9人②4人③1人

【実施場所】①②芦城センター ③小松市国際交流協会（こまつまちづくり交流センター）

【受講者募集方法】SNS、HP、市広報誌等

【内 容】外国語としての日本語の効率的な教え方を学ぶ

【実施スケジュール】①9月・10月 ②5月～9月 ③随時

### 3. 日本語教育人材の研修

【名 称】日本語教育人材の研修

【目 標】日本語講師のスキルアップ

【実施回数】2回

【受講者数】①7人②13人

【受講者募集方法】日本語講師への個別案内、掲示等

【内 容】

①入門・初級レベルのグループクラスでの効果的な教え方

②効果的な教え方、教材の使い方

【実施スケジュール】①令和5年12月3日 ②令和6年1月27日

### 4. 地域の日本語教育の実施効果を高めるための取組

【名 称】KIA日本語スピーチコンテスト

【目 標】日本語の学習成果発表及び日本語学習のモチベーション継続、地域住民に外国人の思いなどを知ってもらい多文化共生へ繋げる

【実施箇所数】1か所

【実施時間数】計2時間

【具体的な実施内容】制限時間を設け、発音や話し方などをコンテスト形式にて開催

【実施スケジュール】令和6年1月21日

（珠洲市）

#### 1. 地域日本語教育の実施

【名 称】珠洲市日本語教室（既設）

【目 標】本市在住外国人を対象とした日本語教室を実施し、日常生活を支援する。

【実施回数】12回（1回 1.5時間）

【受講者数】12人（12人×1か所）

【実施場所】飯田公民館

【受講者募集方法】市広報、チラシ掲示

【内容】在住外国人を対象とした日本語教室（初級・中級）を5月～7月（前期）、9月～12月（後期）の期間中、月2回程度開催

【開始した月】令和5年5月

【講師】6人

(白山市)

1. 地域日本語教育の実施

【名称】日本語教室（既設）

【目標】日本語学習を希望する外国人への支援

【実施回数】初級クラス 年間 631 回（1 回 1.5 時間）  
中級クラス 年間 114 回（1 回 1.5 時間） 合計 745 回

【受講者数】119 人（1 か所）

【実施場所】白山市国際交流サロン（白山市古城町 2 番地）

【受講者募集方法】交流サロン窓口での案内や SNS 等による発信

【内容】協会会員による外国人向け日本語学習教室

【開始した月】令和 5 年 4 月

【講師】36 人（うち、日本語教師 8 人）

2. 日本語教育人材の研修

【目標】日本語学習支援者のスキルアップ

【実施回数】2 回（1 回 2 時間）

【受講者数】23 人（1 回目 10 人、2 回目 13 人）

【実施場所】白山市国際交流サロン（白山市古城町 2 番地）

【受講者募集方法】日本語学習支援者への直接案内

【内容】日本語学習支援に係る講師を招聘し、研修を実施

【実施日程】令和 6 年 1 月 18 日（木）、1 月 25 日（木）

【講師】2 人（うち、日本語教師 2 人）

(能美市)

1. 地域日本語教育の実施

【名称】能美市日本語教室（既設）

【目標】言葉の壁により日常生活で生じる支障を解消するため、誰もが等しく日本語支援を受けることができる環境を整備し、提供する。

【実施回数】各クラス毎週 1 回（1 回 1.5 時間）

【受講者数】約 90 人

【実施場所】JAIST クラス：北陸先端科学技術大学院大学

根上クラス：根上学習センター

寺井クラス：寺井地区公民館

辰口クラス：岩内コミュニティセンター

【受講者募集方法】広報誌、ホームページ、生涯学習情報誌ほか

【内容】ボランティア登録しているサポーターが在住外国人に対し、実践的かつ個人の日本語スキルに応じた丁寧な指導を実施する

【開始した月】令和 5 年 4 月

【講師】15人

## 2. 日本語教育人材の研修

【名称】日本語サポータースキルアップ事業

【目標】日本語サポーターのスキルや資質の向上を目指す

【実施回数】8回（1回1時間半）

【実施場所】小松市、越前市ほか

【内容】日本語教育推進に資する研修会の開催や自己研鑽のための参加を奨励

【実施スケジュール】通年

## 3. 地域の日本語教育の実施効果を高めるための取組

【名称】日本文化体験事業

【目標】ショート・ホームステイ体験や地域交流活動で能美市民とふれあい、市内公共施設や企業見学を通して能美市が生活の場として魅力的な地域であること、安全・安心で暮らしやすい地域であることを知識としてではなく、体験することで理解してもらう。

【実施箇所数】3か所

【実施時間数】計6時間

【具体的な実施内容】辰口温泉、九谷焼工房、小松マテーレの見学

【実施スケジュール】7月4日、9月26日、12月15日

## 4. 日本語教育人材の育成

【名称】外国人コミュニティサポーター事業

【目標】言葉や生活をサポートし、外国人住民が安心して生活できる地域づくりを推進する

【実施回数】2回（1回1時間程度）

【実施場所】寺井地区公民館

【具体的な実施内容】日本語で情報発信や相談対応を行うボランティア（コミュニティサポーター）として地域で活躍できる外国人を育成し、活動を支援する

【実施スケジュール】通年

（野々市市）

## 1. 地域日本語教育の実施

【名称】外国人のための日本語教室 in ののいち（既設）

【目標】日本語でコミュニケーションがとれるようになるために日本語学習を支援する

【実施回数】40回（1回1.5時間）

【受講者数】27人（延べ279人）

【実施場所】野々市市役所 101 会議室、102 会議室（オンライン併用）

【受講者募集方法】市内公共施設等にチラシ・ポスター掲示、地域のイベント等でのチラシ配布

【内容】対面もしくはオンラインで学習者の希望に沿って日本語学習をする

【開始した月】令和5年4月

【講師】15人

(中能登町)

1. 地域日本語教育の実施

【名称】中能登にほんごひろば「茶の間」

【目標】交流型の日本語教室開催を通じて、生活に必要な事等をトピックや会話を通じて学び異文化の相互理解を深める。また、顔の見える関係作りを目指す。

【実施回数】18回(1回1.5時間)

【受講者数】延べ156人(156人×1か所)

【実施場所】中能登町生涯学習センター「ラピア鹿島」内  
中能登町立図書館コミュニティー広場

【受講者募集方法】ポスター、チラシ、Facebook、町広報誌、町ホームページ

【内容】交流型の日本語教室の開催

【開始した月】令和5年4月

【講師】6人(うち日本語教師1名)

(取組②) 取組1以外の日本語教育を行う団体を支援して実施する日本語教育

5 主要な取組の実施状況

令和5年4月	地域日本語教育コーディネーター依頼 各取組準備
5月	お助け隊活動 外国人ニーズ調査(～8月)、「やさしい日本語」出前講座、「子ども初期日本語支援」開始
6月	お助け隊活動、テーマ別研修会①、オンライン茶話会①、オンライン日本語クラス、「子ども初期日本語支援」
7月	お助け隊活動、テーマ別研修会②、オンライン茶話会②、オンライン日本語クラス、「子ども初期日本語支援」
8月	お助け隊活動、テーマ別研修会③、オンライン茶話会③、オンライン日本語クラス
9月	お助け隊活動、オンライン日本語クラス、「子ども初期日本語支援」
10月	お助け隊活動、オンライン日本語クラス、「子ども初期日本語支援」
11月	お助け隊活動、オンライン日本語クラス、「子ども初期日本語支援」、石川県日本語教室大会
12月	お助け隊活動、オンライン日本語クラス、「子ども初期日本語支援」
令和6年1月	お助け隊活動、オンライン日本語クラス、「子ども初期日本語支援」、地域日本語サポーター研修(～2月)
2月	お助け隊活動、オンライン日本語クラス、「子ども初期日本語支援」
3月	下旬 事業終了、実績報告書の提出

## 6 評価と検証

<b>1. 令和5年度の計画の評価と検証方法</b>
<b>【令和5年度の目標】（再掲）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・空白地域の解消に向けた働きかけ</li><li>・地域日本語教育や外国人住民支援に関わる人材のすそ野の拡大（外国人住民も含む）</li><li>・オンライン日本語教室の実施</li><li>・年次計画期間である5年間の最終評価と今後の方向性の検討</li></ul>
<b>【令和5年度の目標達成に向けた指標（定量評価・定性評価を含む。）】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・空白地域をはじめ、地域日本語教室の充実を図った。（取組5-①、取組7-①）。</li><li>・「やさしい日本語」講座や地域連携事業をとおし、県民に多文化共生事業にかかわる機会を設けた（取組5-②、③）。</li><li>・地理的・時間的なハードルなどから日本語教育を受ける機会がない外国人住民へ、オンラインによる初期日本語教育受講の機会を提供した（取組7-①、④）。</li><li>・推進事業の最終評価と内容の共有を行った。（取組4-①、取組15）。</li></ul>
<b>【指標1：定量評価目標】</b> <p>当事業への県内自治体・地域日本語教室関係者参加度</p> <p>○目標値 全自治体担当部署・地域日本語教室の参加度 90%（R4年度：80%）</p> <p>○結果 （R5年度）79%</p> <p>（R元年度～R5年度）100%</p> <p>5年間の推進事業を通してみると、県内19市町すべてが本事業に関わりを持つことができ、県・県協会と県内自治体多文化共生担当部署、県内地域日本語教室を軸にした石川県内の多文化共生社会づくりの基盤を築くことができた。</p>
<b>【指標2：定性評価目標】</b> <p>空白地域（H30時点で5町）について、地域日本語教育に関連した取組を実施する。また参加者の満足度等を測る</p> <p>○目標値 すべての空白地域での実施。（R4年度：1町での実施）</p> <p>○結果 （R5年度）1町で実施</p> <p>（R元～R5年度）3町で実施</p> <p>空白地域に住む外国人住民に対し、該当自治体が目を向け、今後日本語教室など外国人住民と日本人住民が相互に学びや交流、協働する場づくりが始動することを目指し、5年間の推進事業の活動を通して、空白地域5町がそれぞれに具体的な目に見える行動をとった。</p>
<b>【指標3：定量評価目標】</b> <p>一般の県民や外国人住民自身の参加、域内のステークホルダー連携</p> <p>○目標値 150名（R4年度：113名）</p> <p>○結果 146名（R5年度）</p>

取組⑤-2 やさしい日本語講座：8 か所、146 名（前年：6 か所 65 名）

県内に住む日本人と外国人それぞれが多文化共生社会への理解を深め、直接・間接に共生社会づくりに関わることを目指す取組は実施した「やさしい日本語」講座は、参加者が多様で参加人数も多く意義ある講座となった。※取組⑤-2 広域連携講座・取組⑤-3 地域連携外国人住民支援体制構築事業・取組⑥-7 外国人コミュニティーリーダー研修については、能登半島地震により中止

**【指標 4：定性評価目標】**

オンラインクラス参加者の満足度

○参加者アンケート評価 満足度 80%（新規）

○結果 満足度 とてもよかった 93.8% / よかった 6.3%

アンケート回答があった参加者の評価は、約 94%が「とてもよかった」と回答しており、さまざまな理由で日本語学習の機会がなかった在住外国人に日本語学習の機会を提供することができた。

**【指標 5：定性評価目標】**

県内日本語教室、自治体担当者に対して、体制づくり推進事業5年間の事業、取組に関して評価、意見を集めた。

○結果 評価 とてもよかった 13.3%/よかった 86.7%

アンケート回答があった参加者の評価は、すべての回答が「よかった」以上に回答しており、県内の自治体、地域日本語教室が、推進事業5年間の取組に対し、それぞれの立場から意義を見出していることがわかった。

**【検証方法】**

指標 1、2、3は参加者数等を集計

指標 4、5はアンケートを実施。

**【その他】**

事業アドバイザーから事業全体および個々の取組について、評価、アドバイスをもらい、翌年以降の事業に反映させる。

石川県の多文化共生社会への取組が点から線へ広がりを見せたなか、①線から面へどう発展させられるか、②「外国人—日本人」とカテゴライズせずに取り組みにはどうすればよいか、③たまたま居合わせた人「偶然の参加者」をいかに巻き込むかなど、課題をもらうことができた。

**2. その他、令和5年度事業の評価と検証方法**

**【各取組の指標及び検証方法（定量評価・定性評価）】**

**【取組④】 石川県日本語教室大会**

（定量評価） 石川県日本語教室大会参加者

今年度目標 80 名（前年度実績 55 名）

今年度実績 45 名

土曜日開催だったため参加できない方もいたとのこと、R6年度は金曜日開催予定。

(定性評価) 参加者の満足度

(検証方法) アンケート実施

(検証結果) 参加者へのアンケートの結果、参加者も満足度は「とてもよかった」、「よかった」と回答した者が95%おり、おおむね満足いただけた。また、複数のミニ活動報告を同時並行で複数回実施し、参加者は自分で報告を選ぶ必要があった。結果として、能動的な参加や交流が行われ、各地域・各教室が地域の実情に合わせて取組を行う当事業の趣旨と合致して進められた。

【取組⑥活動⑥】外国人コミュニティリーダー研修（※令和6年能登半島地震の影響により中止）

【取組⑪-①】「やさしい日本語」出前講座

(定量評価) 開催回数

今年度目標 10回（前年度実績：6回）

今年度実績 9回

(定性評価) 参加者の満足度

(検証方法) アンケート実施・結果検証

(検証結果) 参加者へのアンケートの結果、参加者も満足度は「とてもよかった」、「よかった」と回答した者が99%おり、満足いただけた。企業、ボランティア団体、自治体、学生サークルなど幅広い団体で実施ができた。外国人に接する機会の有無に関わらず、やさしい日本語の使用に関して「発見があった」といった回答が多く聞かれ、今後も地道に県内で実施することが望まれる。

## 7 検証を踏まえた課題と今後の展望

### 1. 検証を踏まえた課題と今後の展望

#### (1) 検証を踏まえた課題

##### ・空白地域の解消に向けた働きかけ

空白地域がある能登地域の地域日本語教室の活動や地域日本語教育に関連した取組の実施には、R6年能登半島地震により大きな影響が出ることは避けられない。少子高齢化、過疎化の影響として、外国人就労者が増加する一方、外国人住民支援の担い手不足も課題となっており、地域を支えている外国人就労者に対して、地域での生活・定着に必要な日本語教育の提供方法を改めて検討していく必要がある。

##### ・地域日本語教育や外国人住民支援に関わる人材のすそ野の拡大（外国人住民も含む）

R5年度は地域日本語教育コーディネーターとして2名の外国人住民に加わってもらい、外国人同士のネットワークを活用や、自分が外国人として日本で生活してきた経験を生かす活動を行った。石川県日本語教室大会へも留学生の参加があり、推進事業への外国人住民の参画は徐々に進んでいる。しかし、令和6年能登半島地震では、外国人住民とのつながりが十分ではないことが判明し、引き続き日本語教室を核としたネットワーク作り、顔の見えるつながり作りの必要がある。

また、日本人関係者についても、大会や研修会への参加者の顔ぶれが固定している状況であり、日本語講師・サポーターの高齢化、不足は全県共通の課題であり、関係者のすそ野を広げることが引き続き課題である。

##### ・オンライン日本語教室の実施

今年度開始したオンラインクラスにより、これまで学習機会のなかった外国人住民に新たな学習手段を提供することができ、一定の成果を収めた。

しかし①夜間や休日の授業を希望する学習者に対応できるだけの講師の確保、②スマホなど限られた機材でのオンライン授業をうまく進めるためのノウハウを講師に身につけてもらう、③受講者が10回のオンラインクラスを終了したあとに継続的に日本語学習を続けてもらうための支援や引継ぎの方法、④継続してオンライン授業の県内全ての日本語教室への普及を図ることが課題である。

##### ・年次計画期間である5年間の最終評価と今後の方向性の検討

石川県における当事業では、各地域、各市町、各教室の状況や特徴、これまでの経緯を尊重し地域内の日本語教育を発展させつつ、地域間、教室間、講師間の連携協力の体制を作ることを進めてきた。

この5年間で、市町間、教室間の連携協力関係をある程度作り上げることに成功した。大会や研修会に県内の異なる地域・教室の講師・サポーターが参加し、対等な立場で意見交換できるようになり、お互いの教室の状況や取組を参考にしたり、時には互いに訪問し授業を見学し合ったりといった関係づくりができたことは、この5年間の推進事業の大きな成果である。

また、地域内での日本語教育に関係するステイクホルダー間の連携協力体制を作ることも、複数市町で実現、継続できた。例えば、子ども支援でも、特定の教師が一定期間子どもに授業を提供するだけ

にとどまらず、教育委員会、学校、教師、日本語教室、保護者などが継続的に児童生徒を支援する体制が実現した。

当県における地域日本語教育の体制づくりとしては、この5年間で一定の成果を得たと考えているが、その一方で、県内の地域間、教室間で、地域日本語教育の規模や内容、継続性には、引き続き格差がある。現在、能登半島地震が起きたことで、地域コミュニティや産業、生活の復興や継続が課題となっているが、同様の課題が、地域日本語教室の枠組みで見ても、教室の立ち上げ、継続の可否や、サポーターの成り手がいないことを通じて見えてくる。日本語教育に関する地域間の規模や機会の不均衡を、誰がどのように補っていくのかが課題となっている。

## (2) 今後の展望

令和6年能登半島地震の影響を受けた能登地域では、日本語教室の開設や日語教室再開に向けて動き出している。また、オンライン日本語クラスには被災地から参加した学習者もおり、引き続きオンライン授業の利用などを通じ、被災地で日本語教育機会を途切れさせないこと、空白地域の支援を実施していきたい。また、B1レベルの基礎的な日本語教育が全県で受講可能な体制を作るには、人材の育成と協力体制の整備が必要である。過去5年の推進事業で培われた教室間・教師間のネットワークを通じ、今後の石川県の日本語教育の中心を担う人材を育て、つながり作りを行っていきたい。同時に、地域日本語教育に関わる人口を増やすため、やさしい日本語講座の開催、外国人住民主体の取組の開催などを行っていきたい。

さらに、各市町・教室での対面の日本語教室の立ち上げ・継続・発展を支援すると同時に、時間や場所の制約の少ないオンラインクラスの県内への普及にも力を入れていきたい。これにより空白地域や能登半島地震の被災地域の支援にもつながると思われる。

## 2. その他、課題と困難な状況への対応方法等

### (1) 課題と困難な状況への対応方法

・地域間、教室間の連携協力：子ども支援やオンラインクラスの実施において、市町や教室の枠を越えて教室や講師の協力を得た。推進事業5年間の事業を通じて徐々に培ってきた信頼協力関係が実を結んだと考えている。

・オンライン授業の実施：元々コロナ対策として県内に普及を図ったオンライン授業であったが、オンラインでの研修会や会議の実施などを通じ、教室や講師に浸透し、今年度は県全域を対象としたオンラインクラスの実施として結実した。地域によって日本語教育の規模や方法に差のある当県においては、オンライン授業は効果的な方法と考えており、今後は、空白地域や能登半島地震の被災地域でのオンライン日本語教育の実施、B1レベルクラスのオンラインでの実施なども検討していきたい。

【参考写真一覧】

取組番号	写真名
4-1	石川県日本語教室大会



6 - 3

テーマ別研修会 第2回





【参考資料一覧】（令和5年度以降は、主要な成果物（報告書、教材等）に限る。）

取組番号	資料名	NEWS 掲載
4-1	4-1 石川県日本語教室大会報告書	○
5-1	5-1 穴水町訪問 5月17日報告書	
5-1	5-1 志賀町訪問 9月20日報告書	
6-3	6-3 テーマ別研修会第1回報告書	
6-3	6-3 テーマ別研修会第2回報告書	
6-3	6-3 テーマ別研修会第3回報告書	
7-1	7-1 オンライン日本語クラス概要	○
7-1	7-1 オンライン日本語クラス入門クラス報告書	
7-1	7-1 オンライン日本語クラス初級クラス報告書	
7-2	7-2 オンライン日本語クラス企業向けクラス報告書	
7-3	7-3 子ども支援パッケージ化支援報告書	
15-1	15-1R5 県内日本語教室調査まとめ	○